

第 51 回（平成 28 年度）優秀畜産技術者表彰候補者の 推薦および推薦状の記入についてのお願い

〔平成 28 年 6 月 公益社団法人 畜産技術協会（事務担当 総務企画部）〕

平成 28 年度の候補者ご推薦、推薦状ご記入について下記の点にご留意の上、よろしくお願ひいたします。

記

I 候補者の推薦について

1. 受賞対象者は、畜産技術協会 1 号会員の構成員（民間、国の機関の方も含む）であって将来性に富み意欲ある優秀な中堅の技術者・指導者を対象とし（細則第 1）、畜産技術の研究、開発または優秀技術の普及、指導上顕著な功績を挙げた者とされています（表彰規程第 2 条）。
このため、候補者としてご推薦をいただく方については、
①概ね 50 歳以下の者とし、
②受賞者は 10 件以内（細則第 4）であることから、原則として 1 機関（〇〇県畜産試験場等）1 名以内でお願いします。
また、すでに全国的表彰を受けた者は、原則として対象外となります（細則第 1）。
2. 表彰の対象分野は、畜産技術に係る（1）家畜生産・飼養、（2）草地・飼料、（3）家畜衛生、（4）経営技術・指導、（5）行政・普及等の幅広い分野としますが、この 5 分野以外を対象とした候補者でも差支えありません。
3. 例年、ご推薦いただく方の所属と分野が一部に片寄り、集中する傾向がみられます。
この事業の趣旨としては、より広い範囲の優れた技術者の方を表彰することとされておりますので、団体・民間や独立行政法人等の研究者・技術者、また畜産の生産現場で活躍されている行政部局技術者の方の積極的なご推薦もお願ひいたします。
4. 特に、経営技術・指導や行政・普及の分野にご推薦をいただく場合は、その技術者の業績が生産現場でどのような効果を挙げているかについて具体的にお示し下さい。
5. なお、前回までの審査において選外となられた方でも、更に業績を積み重ねられて受賞される例もみられますので、再度のご推薦についてもご検討をお願ひいたします。
6. 受賞者は、畜産技術協会より推薦を依頼した団体（全国畜産関係場所長会、全国畜産課長会、家畜改良センター牧場長協議会、公益社団法人 中央畜産会）及び畜産技術協会の 4 号会員から推薦された候補者について、各分野の権威者で構成される審査委員会に諮り畜産技術協会会長が選考決定いたします（表彰規程第 6 条、細則第 6）。

II 推薦状の記入について

受賞者の審査は、提出いただいた推薦状を基に行われます。候補者が適切、公正に評価を受けられますよう、ご記入に際し特に次の点にご留意下さい。

1. 推薦状は、指定の様式により **A4 版用紙 2 枚にまとめてください**。各欄のスペース、活字の大きさは特に指定しませんが、推薦状はそのままコピーして審査資料としますので、ワープロ仕上げにしてください。A4 版用紙 2 枚以上にわたる長文の推薦状は 2 枚にして再提出をお願ひすることになりますのでご注意ください。
またコピー等の作業上、原稿は両面打ち出さないで、**必ず片面印刷 2 枚**でお願いします。

2. 推薦状の「推薦者」は、候補者が所属する機関・団体の代表者等とします。
推薦状は、畜産技術協会が推薦を依頼した I-6. の団体を経由して提出されることを原則としますが、推薦団体の了解を得た上で直接送付（郵送に限る）されても結構です。

3. 「候補者の職歴と従事した業務の内容」欄については、候補者が関係した時期、機関と地位、従事した仕事の内容が明確になるよう時系列的に 2～3 行で簡潔に記入して下さい。

(記入例)

(1) 平成 2 年 4 月～平成 4 年 3 月

〇〇県畜産試験場〇〇研究部 研究員。〇〇に関する研究開発

(2) 平成 4 年 4 月～平成 6 年 3 月

〇〇県畜産技術課〇〇係長。〇〇に関する技術行政事務

(3) 平成 2 年 4 月～平成 5 年 3 月

〇〇県〇〇家畜保健衛生所 技師。〇〇〇業務

(4) (民間勤務、自営がある場合)

平成 6 年 4 月～平成 8 年 3 月

〇〇株式会社 開発部 研究員(社員)。〇〇の開発(営業)

〇〇県〇〇郡で養鶏業(5万羽)を自営

(5) (JICA 等海外勤務がある場合)

平成 8 年 4 月～平成 10 年 3 月

JICA 海外青年協力隊員として〇〇国の〇〇において〇〇を指導

4. 「表彰に値する業績の概要」は、候補者の業績について時系列ではなく、主要なものの順にタイトルを付けて、業績の背景、事実、効果などについて、簡潔かつ明確に記入して下さい。

大きい事業や共同研究に係る業績については、そのプロジェクトにおける候補者の位置づけ、果たした役割が明らかになるようにして下さい。

この「業績概要のまとめ方」が審査に影響しますので、専門分野以外の審査員にも候補者の功績がわかるような記述をして下さい。

なお、前年度までの受賞者の記入例を求められましても、事務局としては応じられないのでご了承下さい。

5. 「過去の受賞歴」は、候補者の受賞歴について記入して下さい(グループ受賞も含む)。

6. 「その他の参考事項」としては、研究報告、特許、実用新案、事業報告などをご記入下さい。公刊された図書・雑誌、資料の別刷り等の添付は不要です。必要な場合には、こちらから別途要請いたします。

膨大な資料を提出されても審査委員全員の方に読んでいただくことは難しいと考えられます。一般的でない資料については、ここで簡潔に紹介して下さい。

III 推薦状の提出期限

推薦状の提出期限は、平成 28 年 12 月 15 日必着としております。

推薦団体を経由して提出される場合は、推薦団体における取りまとめ作業等もありますので、できるだけ早めに推薦状を提出して下さい。